

平成30年度 重点事業要望説明会

7月25日、県に対する平成30年度重点事業要望説明会を開催しました。今年度は、最重点事業5件のほか、重点事業5件を要望しました。また、五所川原圏域定住自立圏の中心市として2市4町の共通の課題について広域要望として要望しました。



最重点事業

医師確保対策について (継続・広域要望)

五所川原圏域における安心・安全な医療を確保していくため、当医療圏におけるそれぞれの医療機能を担う専門医、在宅医の確保をお願いしたい。

県回答

県では、県全体の医師の絶対数不足への対応、地域偏在、診療科偏在の解消に向け、関係機関と連携しながら取り組んでいる。地域医療構想の推進にあたり、今後ともつがる西北五広域連合のリーダーシップの下、急性期機能の充実に努めるとともに、在宅医療への取り組みも含め、地域の方々が安心して医療を受けられる体制づくりや、中核病院からサテライト医療機関への医師派遣の支援システムを構築するための総合診療医を育成する仕組みづくりなど、具体的な検討を進めていただき、これらの取り組み等を通じて圏域内のへき地医療拠点病院、へき地診療所への支援をお願いしたいと考えている。

津軽自動車道の整備促進について (継続・広域要望)

津軽自動車道の計画段階評価区間約13キロメートルの早期事業化ならびに現在供用されている浪岡五所川原道路の冬期における緊急車両等の安定した通行確保に向けた付加車線の整備、鯨ヶ沢道路の全線供用をお願いしたい。

県回答

津軽自動車道は、これまで国直轄事業により、青森市浪岡からつがる柏インターチェンジ間が供用、

鯨ヶ沢道路が昨年7月に部分供用され、供用区間の浪岡五所川原道路については、更なる利便性、安全性向上を図るため、一部区間で付加車線設置の工事を進めている。引き続き関係機関と連携し未着手区間の早期の新規事業化が図られるよう国に働きかけていきたい。

七里長浜港への大型旅客船の誘致について (継続・広域要望)

五所川原圏域への観光客の誘致、交流人口倍増、地域経済の活性化に向け、七里長浜港への大型旅客船誘致に向け、ポートセールスの充実についてお願いしたい。

県回答

七里長浜港は、世界自然遺産白神山地や立佞武多の館等の津軽地域の観光地へのアクセスがよいことなどから、平成9年にロシア客船が初入港して以来、大型客船がこれまで11回入港している。引き続き七里長浜港利用促進協議会と連携を図りながら、ポートセールスに努めていきたい。

津軽半島サイクルツーリズムの推進について (新規・広域要望)

津軽半島サイクルツーリズムによる地域振興を図るため、サイクリングルートへの「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に沿った路面表示やサインの設置等の走行空間の整備、北海道や東北各県との県境を越えた広域連携によるサイクルツーリズムの推進等について特段のご配慮をお願いしたい。

県回答

今後とも北海道道南エリアと連携し、青函周遊コースの構築に取り組むとともに、台湾を対象にメディアの招請などを通じた発信に取

り組むこととし、市町村等と連携しながら、国内外からのサイクリストの誘客を図りたい。また、ガイドラインに沿った施設整備を行うには、自転車ネットワーク計画の策定や自転車通行ルールの徹底等のソフト面の取り組みが必要であることから、地元住民や道路管理者等と連携しながら、関係者間の合意形成を進めていただきたい。

青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致促進について (継続)

次代を担う若年層や地域求職者等に安定した就業環境の提供および地域経済の活性化を図るため、青森テクノポリスハイテク工業団地漆川への企業誘致対策をお願いしたい。

県回答

企業誘致を取り巻く環境については、国内景気の回復により設備投資意欲が高まっているものの、地域間競争の激化など、依然として厳しい状況にある。今後とも五所川原市と連携しながら、津軽自動車道開通による交通アクセスの向上等の立地環境の良さをPRするなど、積極的な誘致活動に取り組んでいきたい。

重点事業

- ▷観光振興対策について
- ▷国道339号の整備促進について
- ▷主要地方道屏風山内真部線の整備促進について
- ▷電線類の地中化の推進について
- ▷一級河川岩木川水系における治水事業の促進について